

令和5年度(2023年度)

## 学校評価の考察と来年度に向けて

長野県寿台養護学校 学校評価委員会

### 1 アンケートの実施形態

- ・ 昨年度と同様の質問事項10項目について、無記名のアンケートを、保護者と教職員に実施した。
- ・ グーグルフォームを利用して回答いただいた。文書とメール連絡網でURLを通知した。

### 2 アンケート回収率

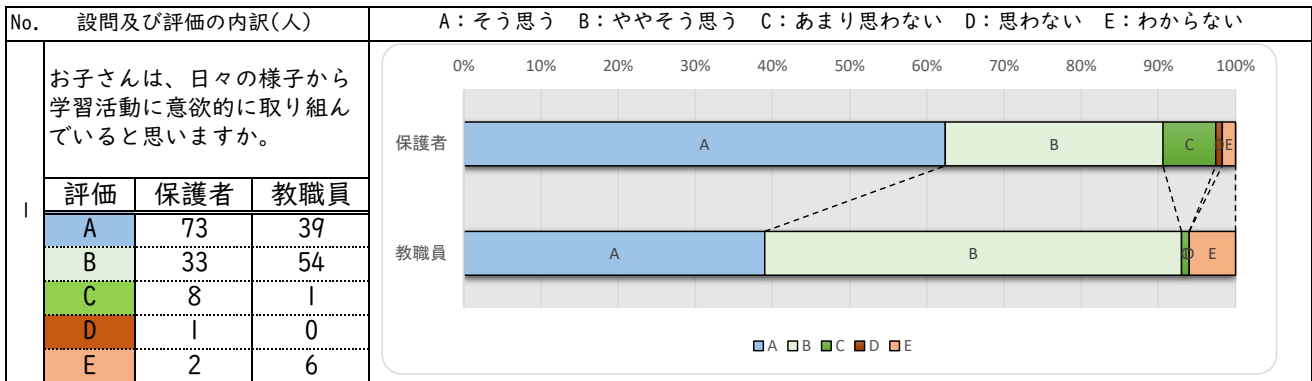
保護者 77% (昨年度は61%)

教職員 95% (昨年度は86%)

昨年度より回答率が上昇した。保護者に対して、部のおたよりやメール連絡網を利用して、複数回呼びかけを実施したためと思われる。

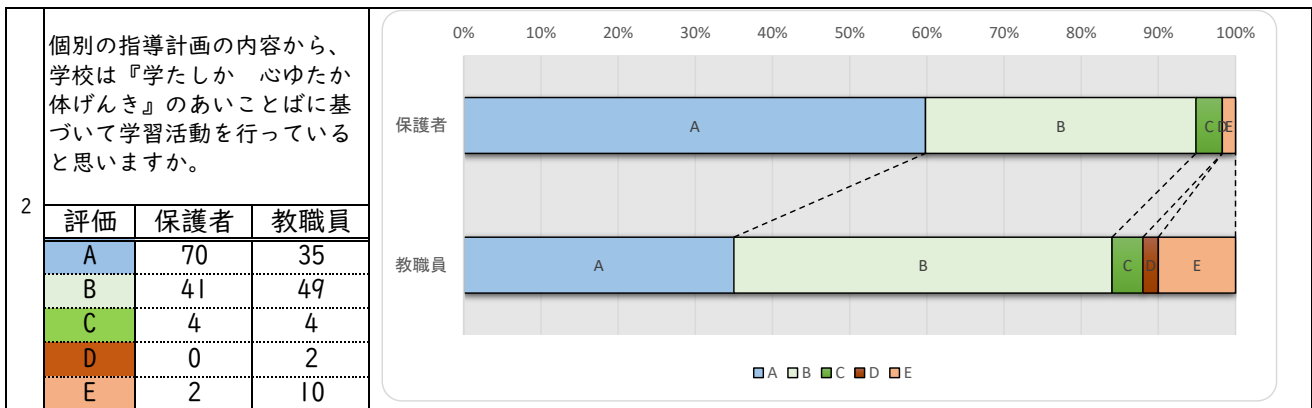
### 3 アンケート結果と考察

内は保護者からのご意見 (一部抜粋)



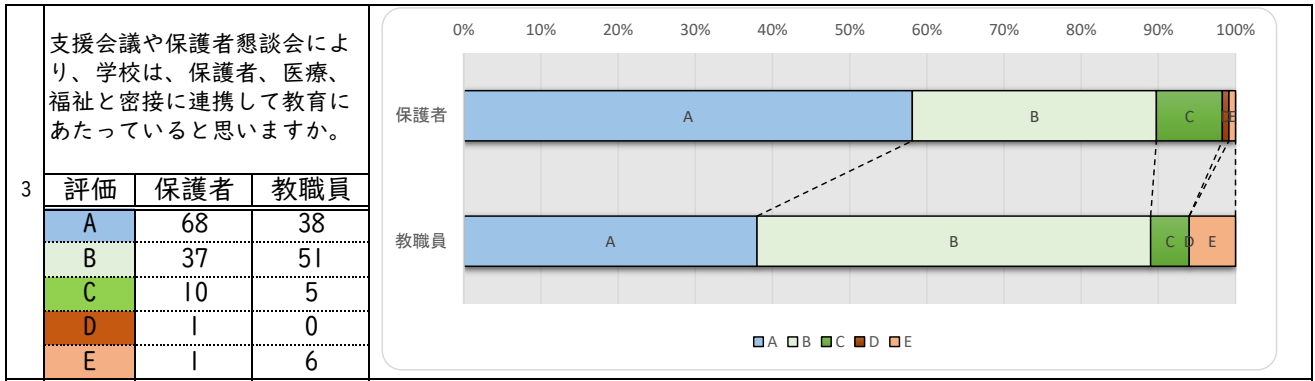
- ・ 集団行動が得意でないため。
- ・ 「今日は ダンスがあるから 頑張る」など、その日の頑張ることを決めて 登校して行きます。

保護者や教職員からの評価がA・Bで90%を占めており、高い評価となっており、意欲的に取り組める授業づくりができていていると思われる。これからも、保護者も教師も、子どもたちが意欲的に取り組んでいることを実感できるような授業づくりをしていきたい。



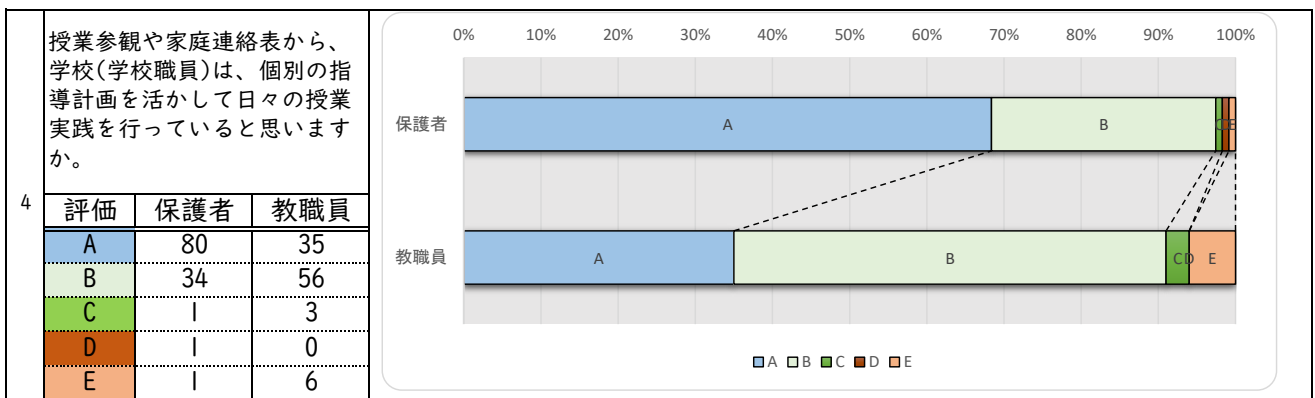
- ・ 学に、問題があると思います。
- ・ 頑張ってやってみたり、目標を持って取り組んでいると思う。
- ・ 個人の反応を見ながら授業を行ってくれている。

保護者からおおむね良い評価をいただいている。教職員は、他の設問に比べてB評価やE評価がやや多い傾向にあるので、個別の指導計画を作成していく際に、あいことばとのつながりを意識していきたい。



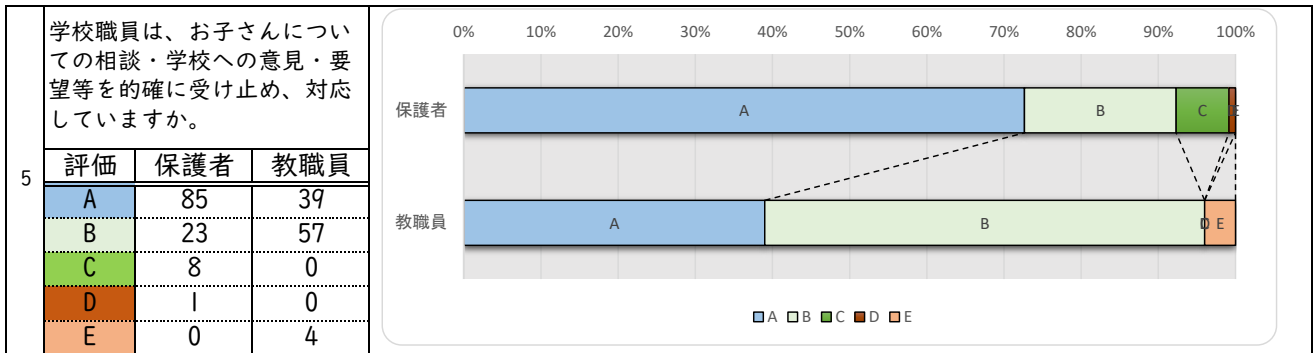
- ・保護者との連携は確実に取れていると感じる一方で、福祉関係者との連携が全くないと思います。
- ・支援会議や懇談会などが行われて、いろいろと連携を図ろうとしていると思う。
- ・個別に支援会議を開催してくれて学校や施設の方と意見交換が出来ていると感じられる。

保護者教職員ともに高い評価である。一方で、福祉や医療との連携については十分ではないという意見もあった。定期的に支援会議を開催していくことや、病院側が以前のように受け入れを広がっていくようであれば、訓練参観等も実施することにより、連携を深めていきたい。



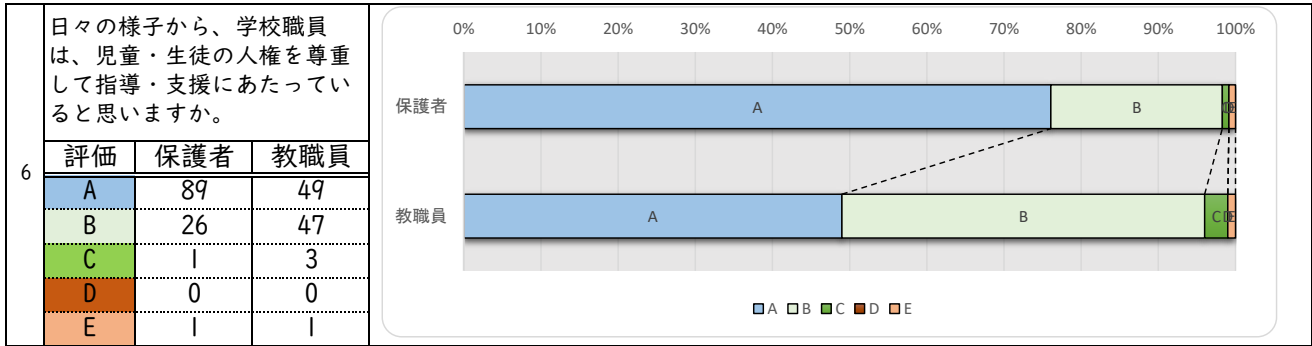
- ・指導計画をもらっていないと思います。
- ・授業参観で活き活きとした姿が見えるため。
- ・いろいろ教材を用意してくれてありがたいです。

9割以上の高い評価をいただいている。引き続き、個別の指導計画をお示しし、活かした日々の授業実践に努めていきたい。懇談会や家庭訪問、授業参観、日々の連絡帳等で、子どもの様子や成長を伝えながら、さらに理解していただけるようにしたい。



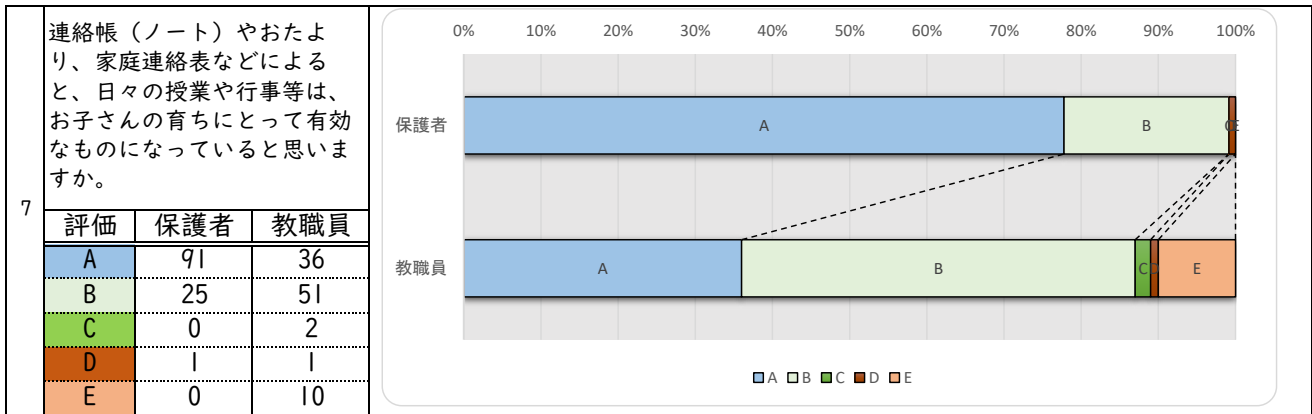
- ・要望に対する回答のスピード感があまりに遅く感じられます。また、できない理由よりも、まずは実現するにはという観点で、関係者でやってみて、それを元に協議していただければ幸いです。
- ・保護者側から相談していけば、それについて対応しようと頑張ってもらっているとは感じます。
- ・子どもについての支援に関する願いを共に考え実践してくださるので大変助かっています。

9割以上の好評価をいただいているものの、対応のスピード感についてのご意見もいただいている。引き続き、保護者の悩みや相談を丁寧に聞く姿勢を持ち、家庭と連携しながら適切に対応していきたい。



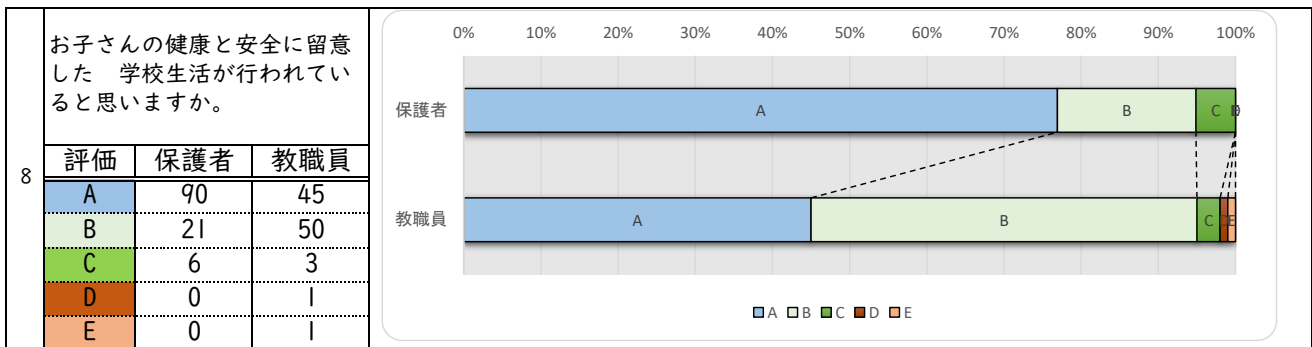
- ・担任クラスでない児童に対して挨拶がなかったり態度が冷たいと感じることがあります。
- ・一人一人の特性を活かした学校生活が送れていると感じるため。

保護者はほぼ良い評価だが、教職員が低めになっている。指導・支援をする中で、より人権感覚を磨いていきたいと考えている職員が多いのではないかと考えられる。



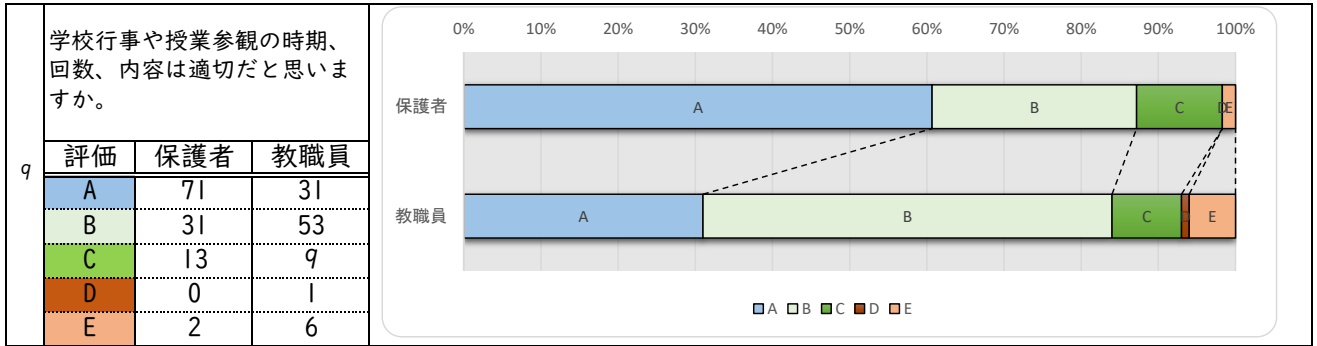
- ・授業の内容が、幼児向けのものばかりだと少し物足りない感じを受けてしまうことがあります。
- ・毎日の様子を詳しく書いていただいたり、質問にもしっかり答えていただいて安心です。

連絡帳や家庭連絡表によって、保護者には児童・生徒の様子がよく伝わり、授業や行事が有効なものになっているという評価になっている。教職員もほとんどは保護者と同じ意見だが、やや低めの評価である。日々の授業や行事について工夫が必要だと考えている職員もいると考えられる。



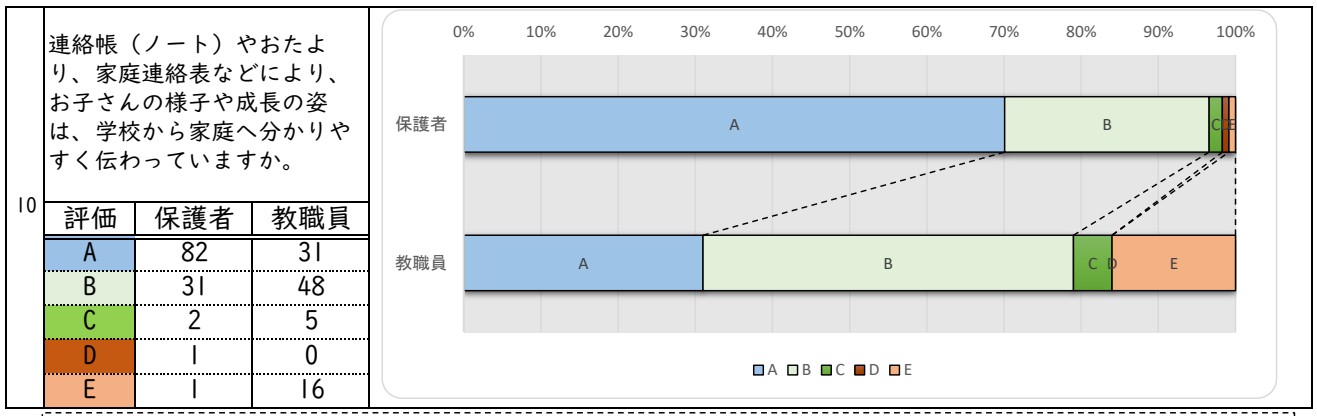
- ・とにかく敷地が狭すぎる。
- ・先生が複数体制でよく見てくれていると感じられるので。

活動場所に限りがある中で、9割以上の保護者から良い評価をいただいている。教職員のB評価が多いのは、もっと良い環境の中で安全に活動したいという思いの表れである。限られた環境の中ではあるが、今後も「健康と安全」に最大限配慮していきたい。



- ・授業参観の回数が多い。いつもと違う環境が苦手で、ストレスに感じる子なので、減らしてほしい。
- ・参観など保護者の出席を求める行事は仕事をしている身だと辛い。
- ・参観日という特別な日としてではなく普段の様子が見たい。
- ・普段行われている個別学習の様子を見学出来たら嬉しいです。
- ・授業参観が増えると、子どもの様子が見れて嬉しい。

他の設問より、C評価がやや多い。授業参観の回数については、賛否両方のご意見があった。授業参観のねらいを考え、参観内容や方法について今後も検討していきたい。



- ・記入する先生によって分かりやすさの度合いは千差万別だと感じます。
- ・毎日違うことを書いてくれて、大変だと思いますが、学校生活がよく分かる。
- ・連絡帳は学校での様子を具体的に丁寧に記入していただき、毎日楽しみに読ませて頂いています。

保護者からはおおむね良い評価をいただいた。教職員のA評価が保護者よりも少なくE評価が多いのは、わかりやすく伝わっているのだろうかという心配の表れであろう。参観や懇談などで、顔を合わせて、児童生徒の様子を直接お伝えしていくことを大切にしていきたい。

#### 4 学校評価委員会の考察（まとめ）

##### (1) 学校評価アンケートからみた本年度の成果

- ・どの設問も、AまたはBの良い評価が9割を占めている。学校での支援や取り組みを肯定的に評価していただけていると考える。当たり前の日常的な支援を大事に、これからも継続していきたい。
- ・個別の指導計画を活かしながらの、日々の授業実践が定着してきていると思われる。

##### (2) 来年度、大切に取り組みたいこと

- ・「学たしか 心ゆたか 体げんき」のあいことばについて、児童生徒一人ひとりの具体的な姿で意識できるよう、教職員の中でも意識を高めていきたい。
- ・担任でない児童に対して挨拶がなかったり、態度が冷たいと感じるというご意見をいただいた。挨拶はもちろん、温かいと感じられる雰囲気を学校全体で作っていきたい。

## 5 学校評議員から（2月学校評議員会で出された意見の要約）

- ・保護者との情報共有がさらに進むことを望む。
- ・全体的に満足度は高いと思われる。保護者と教職員との評価にばらつきがある設問に注目したい。先生たちのA評価が低いことから、不安があることが読み取れる。先生たちは、不安感からさらに一生懸命に取り組んで、それが負担になっているのではないか。肯定的な意見を先生たちに伝えるような振り返りができるといい。
- ・保護者からの意見は非常に厳しい言葉がくることがある。無記名のアンケートだとなおさらである。そのような意見を受けると先生方は切ないだろうと思う。先生方には自信を持ってやってほしい。
- ・7番、10番の結果から、先生方が保護者への伝え方を工夫しようとしているのだろうと感じる。保護者にわかりやすく伝えようと頑張って、負担が大きくなっていないか心配である。連絡帳を毎日書くのは先生たちにとって手間がかかるだろう。その日にどうしても伝えることのみでいい。
- ・アンケートの答えが先生たちのやる気につながるように、出された評価の返し方にも気をつけた方がいい。
- ・実施方法をさらに工夫して、回収率の向上を目指したい。